

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 12 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370062

研究課題名(和文) 大谷探検隊・ドイツ探検隊収集の漢字仏典統合データベースの構築

研究課題名(英文) Construction of Union Database of Chinese Buddhist Texts Collected by Otani and German Expedition

研究代表者

三谷 真澄 (MITANI, MAZUMI)

龍谷大学・国際学部・教授

研究者番号：20411275

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：大谷隊については、龍谷大学のほか旅順博物館所蔵資料の既刊目録との照合やデータベース(DB)の精査を行い、ドイツ隊については、ベルリン市内3機関所蔵資料の実見を経てDB統合作業を行った。また、イスタンブール大学、日本の出口常順師旧蔵資料の精査も実施した。その間、大英図書館国際敦煌プロジェクトのリーダーや旅順博物館館長ほか海外研究者を招聘し学術講演会を開催した。2017年11月には旅順博物館創設100周年記念事業に参加し、大連市内で開催された国際会議において研究発表を行った。最終年度には、DBを基に、大正新脩大蔵經に同定できた22,961点について『大谷隊ドイツ隊収集漢字仏典断片目録』を刊行した。

研究成果の概要(英文)： For the Otani Expedition, I checked the data bases (DB) of the Lushun Museum Collection and the Ryukoku University Library and combined them into a unified DB. For the German Expedition, I integrated the DB of the materials held in three institutions in Berlin and investigated materials held in Istanbul University Library as well as the Jojun Deguchi Collection in Japan. To further this research, I invited a British Library researcher from the International Dunhuang Project as well as the director of the Lushun Museum for academic lectures at our university. In November 2017, I participated in a special event marking the 100th anniversary of the Lushun Museum and presented the results of this research at an international conference in Dalian City.

In the final research year, based on the combined DB, I published "A Catalogue of Chinese Buddhist Fragments Collected by Otani and the German Turfan Expedition" including about 22,961 materials identified in Taisho Tripitaka.

研究分野：中国哲学・印度哲学・仏教学

キーワード：国際研究者交流 ドイツ 国際敦煌プロジェクト 中国 旅順博物館 大谷探検隊 ドイツトルファン探検隊 仏教写本

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、研究開始当初、以下のトルファン出土漢字仏典資料の共同研究にかかわってきた。

- (1)大谷探検隊(以下大谷隊)収集資料・・・
中国・旅順博物館(以下旅博)所蔵
- (2)ドイツトルファン探検隊(以下ドイツ隊)
収集資料・・・在ベルリン、出口常順師・
イスタンブル大学図書館所蔵

(1)については、龍谷大学図書館にも9000点以上の資料が保管され、1953年以来「西域文化研究会」を中心とする研究蓄積を有する。また、1992年より研究交流を進めてきた旅博の漢字仏典データベースについては、すでに、2002年度から2005年度、2008年度から2011年度にわたる2回の科研費によって、同館所蔵の大谷隊収集文献資料の全体像を把握したが、2005年に漢字仏典に関する図録が出版されたものの、総計1,429点で、全体の5%程度に過ぎなかった。

一方、(2)のドイツ隊収集資料は、1960年代より、ドイツのベルリン・ブランデンブルク州立科学アカデミー(BBAW)との協力により研究が進められ、すでに、漢字仏典目録として、第1巻(1,071件、1975年)、第2巻(1,200件、1985年)、第3巻(1,106件、2005年)が出版されている。しかし、内外から要請されながら未刊であったり、研究成果の公開が限定されてきた。その状況はもはや看過できないものである。先ず既刊目録類を再編整理し、誤りは是正し、書写年代の再編集を行い、新規同定分を追加した統合データベースを提示する。紙媒体の目録の出版はもとより、既存インターネット情報への修正・追加を通して、汎用性の高い基礎的データの構築を企図した。

2. 研究の目的

20世紀初頭、日本の大谷隊とドイツ隊は、ほぼ同時期に中央アジアの同地域を探検して膨大な文献資料を収集した。そのうち、主として日本、中国、ドイツ、トルコに分蔵されるトルファン地域出土の漢字仏教文献を研究対象とする。これらは、従来、個別に研究や報告がなされてきたが、本研究課題では、諸研究成果を集積した統合データベースの構築を目的とする。申請者は、大谷隊が収集した文献資料を多数保管する旅博との共同研究に従事してきた。一方、ドイツ隊収集の文献資料の調査にもかかわらず、既刊目録等に記載されない1,000点以上の新規同定仏典を確認している。それらの研究蓄積と最新データを一つに統合し、中央アジア出土漢字仏典研究に資する基盤的データを提示したいと考える。

3. 研究の方法

多くの文献資料の画像が国際敦煌プロジェクト(IDP)や、BBAW(Turfanforschung)のサ

イト(Digital Turfan Archive)で公開されているが、書写年代の推定など統合データベース作成に不可欠の事項を精査するには、中国、ドイツ、トルコなどの所蔵機関に赴いて現物にあたる必要がある。また、大谷隊、ドイツ隊双方の収集品の出土地である新疆ウイグル自治区からは新出資料が発見されており、各国に分蔵される写本断片との関連も調査する必要がある。一方、ヘルシンキ国立図書館所蔵のマンネルヘイムコレクションと旅博所蔵資料の接合例が発見されるなど、異なる機関の所蔵写本が相互に接合する例が多数報告されている。IDPの拠点である大英図書館、龍谷大学その他関連資料を併行調査して、より多くの原資料にあたり、精度の高いデータベースを構築する。

本研究課題の主要な研究対象は、2つである。一つは、旅博、および龍谷大学に所蔵される大谷隊収集の漢字仏典資料であり、もう一つは、ドイツ市内の国立図書館、BBAW、アジア美術館、および出口常順師とイスタンブル大学図書館に分蔵されたドイツ隊収集の漢字仏典資料である。これらは、同時代に同地域で収集、あるいは購入されたという共通点がある。そのため、これらを一体のものとして、一つのデータベースに統合する作業を行う。

龍谷大学では、研究期間終了後もデータの精査を継続しており、これをさらに修訂して活用する。

4. 研究成果

大谷隊については、龍谷大学のほか旅博所蔵資料の既刊目録との照合やデータベース(DB)の精査を行い、ドイツ隊については、ベルリン市内3機関所蔵資料の実見を経てDB統合作業を行った。また、イスタンブル大学、日本の出口常順師旧蔵資料の精査も実施した。その間、大英図書館国際敦煌プロジェクトのリーダーや旅博館長ほか海外研究者を招聘し学術講演会を開催した。2017年11月には旅博創設100周年記念事業に参加し、大連市内で開催された国際会議において研究発表を行った。

最終年度には、DBを基に、大正新脩大藏經に同定できた22,961点について『大谷隊ドイツ隊収集漢字仏典断片目録』を刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

三谷真澄「大谷光瑞師の思想と事業～その歴史的意義の再検証に向けて」

BARC ワーキングペーパー(グループ1/ユニットB/サブユニット3) アジア仏教文化研究センター、2017年。 査読無し

三谷真澄「対早期《无量寿经》写本作出了详尽的考释」武漢大学中国三至九世紀研究所編『魏晉南北朝隋唐史資料』第32輯、上海古籍出版社、2016年。 査読無し

ヤマンラール水野美奈子・長場紘・村松伸・パオロジラルデッリ・ジラルデッリ青木美由紀・永田雄三・佐野東生・嵩満也・三谷真澄・鈴木董「世界の中の日本・日本の中の世界(2007-2009年) - イスタンブル旧総領事館と日本の文明開化思潮」『国際社会文化研究所紀要』16号、龍谷大学国際社会文化研究所、pp.9-59、2014年。(三谷真澄「西域文書が結ぶ日本とトルコ」(pp.35-45)を分担執筆) 査読無し

〔学会発表〕(計 4 件)

三谷真澄「古典籍デジタルアーカイブ研究センターの仏教学への貢献～旅順博物館100周年記念事業を中心として」古典籍デジタルアーカイブ研究センター2017年度 研究成果報告会、龍谷大学瀬田学舎、2018年3月9日。

三谷真澄「旅順博物館所蔵トルファン出土仏典研究と龍谷大学」国際學術研討會「絲綢之路與新疆出土文獻」(旅順博物館・北京大学・龍谷大学共催、於：大連医科大学) 2017年11月6日。(2018年度論文集として刊行予定)

三谷真澄「文献資料のデジタルアーカイブの意義～大谷探検隊とドイツトルファン隊の文字資料調査の立場から」、国際シンポジウム「中央アジア出土資料のデジタルアーカイブ～その現状と課題～」、龍谷大学仏教文化研究所「西域文化研究会」・古典籍デジタルアーカイブ研究センター・アジア仏教文化研究センター・世界仏教文化研究センター共催、龍谷大学大宮学舎、2016年11月18日。

三谷真澄「仏教者・大谷光瑞師と農業」世界仏教文化研究センター・アジア仏教文化研究センター、仏教文化研究所、国際社会文化研究所共催ワークショップ

ブ、龍谷大学大宮学舎、2015年12月10日。

〔図書〕(計 5 件)

三谷真澄編『大谷隊ドイツ隊収集漢字仏典断片目録』世界仏教文化研究センター・仏教文化研究所「西域文化研究会」・古典籍デジタルアーカイブ研究センター(印刷製本:真陽社 702p+iv)2018年。 査読無し

三谷真澄編『「世界」へのまなざし～最古の世界地図から南方熊楠・大谷光瑞へ』(龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ 2)、法蔵館(116p)、2017年。(「はじめに」および「大谷光瑞の世界認識」(pp. 81-113)執筆) 編者による査読有り

三谷真澄・ヤマンラール水野美奈子編(龍谷大学国際社会文化研究所研究成果報告書) 龍谷大学国際社会文化研究所(印刷製本:真陽社)(149p) 2016年。 査読無し

Haz. Demirağ :The Turkish Japanese Factory - Türk Japon Fabrikası,Bursa'ya Dokunan Tarih "1928" History Woven in Bursa, Papyrus Sahaf, Istanbul, Turkey, 2015(Mazumi Mitani: ““An Unknown Page in Japanese Turkish Relations: the Story of the Turfan Documents at Istanbul University”, pp.82-99) 編者による査読有り

龍谷大学龍谷ミュージアム・産経新聞社・京都新聞編『チベットの仏教世界 - もうひとつの大谷探検隊』龍谷大学龍谷ミュージアム・産経新聞社・京都新聞、(196p)、2014年。三谷真澄「青木文教と多田等観の将来資料」(pp.163-171)を分担執筆。 編者による査読有り

その他〔研究ノート〕(計 1 件)

三谷真澄「龍谷大学と中国旅順博物館及びドイツトルファン研究所との学术交流～大谷探検隊とドイツ隊の本国帰還一〇〇周年を機縁として～」『龍谷大学仏教文化研究所所報』38, pp.1-6, 2015年。

その他〔講演〕(計 2 件)

三谷真澄「大谷光瑞とその探検～狭広の意義、および仏教学への貢献について」、米国仏教大学院(Institute of Buddhist Studies(IFS))龍谷講座、アメリカ合衆

国・パークレー市浄土真宗センター、
2017年3月20・22日。

三谷真澄「大谷光瑞の世界認識」、2016
年度龍谷大学アジア仏教文化研究セン
ター文化講演会（総合テーマ「世界認
識と「アジア」」、龍谷大学深草学舎、
2017年1月21日。

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

三谷 真澄 (MITANI, Mazumi)
龍谷大学・国際学部・教授
研究者番号：20411275

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

海外共同研究者：

旅順博物館

- ・王振芬（旅順博物館館長）
- ・房学恵（旅順博物館副館長）
- ・孫伝波・王 梅・陰会蓮（旅順博物館館員）

BBAW Turfanforschung

- ・DURKIN-Meisterernst, Desmond
（Turfanforschung トルファン研究所所長、後

研究員）

- ・RASCHMANN, Simone-Christiane (BBAW
Katalogisierung der Orientalischen
Handschriften in Deutschland 研究員)
- ・RECK, Christiane (BBAW Katalogisierung der
Orientalischen Handschriften in Deutschland 研
究員)
- ・YAKUP, Abdrishid (トルファン研究所研究員)
- ・笠井幸代 (KASAI, Yukiyo, トルファン研究
所研究員、後所長)

Museum für Asiatische Kunst (旧 Museum für Indische Kunst, MIK) (アジア美術館)

- ・RUSSELL-Smith, Lilla (ベルリン国立アジア
美術館中央アジア部門学芸員)
- ・檜山智美 (HIYAMA, Satomi, ベルリン国立
アジア美術館研究員)

Istanbul University(イスタンブル大学)関係

- ・SERTKAYA, Osman Fikri (イスタンブル大学
文学部元教授)
- ・SERTKAYA, Ayşe Gül (イスタンブル大学元
教授)
- ・ヤマンラール水野美奈子 (YAMANLAR,
Mizuno Minako, 龍谷大学国際文化学部元教
授)
- ・KUCUKYALCIN, Erdal (西域文化研究会客
員研究員)

その他の協力者

- ・GALAMBOS, Imre (University of Cambridge,
East Asian Studies)
- ・HALÉN, Harry (the Finno-Ugrian Society)

国内研究協力者：

- 龍谷大学仏教文化研究所「西域文化研究会」
- ・上山大峻 (UEYAMA, Daishun, 龍谷大学名
誉教授)
 - ・竺沙雅章 (CHIKUSA, Masaaki, 京都大学名
誉教授)
 - ・小田義久 (ODA, Yoshihisa, 龍谷大学名誉教
授)
 - ・古泉圓順 (KOIZUMI, Enjun, 四天王寺大学
名誉教授)
 - ・宇野順治 (UNO, Motoharu, 龍谷大学仏教文
化研究所客員研究員)
 - ・臼田淳三 (USUDA, Junzo, 同上)
 - ・磯邊友美 (ISOBE, Yumi, 同上)
 - ・田村俊郎 (TAMURA, Toshio, 同上)
 - ・橋堂晃一 (KITSUDO, Koichi, 龍谷大学非常
勤講師)
 - ・那須良彦 (NASU, Yoshihiko, 同上)
 - ・坂本昭二 (SAKAMOTO, Shoji, 古典籍デジ
タルアーカイブ研究センター研究員)